

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

問題として採用した文章については、著作権者への配慮から
掲載を差し控えております。

問一 二重傍線部③④の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に書き改めなさい。

問二 波線部α、βの文脈上の意味として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|-------|------------|--------|-------------|
| α 零細な | | β しきたり | |
| ア | 大変仲が良い。 | ア | 昔から伝わる伝説。 |
| イ | 規模が非常に小さい。 | イ | 地域にある偏見や差別。 |
| ウ | とてもたよりない。 | ウ | 以前からのならわし。 |
| エ | きわめて細かい。 | エ | 地方ならではの方言。 |

問三 (A)に入る語句として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 創造 イ 抽象 ウ 規範 エ 個別

問四 (B)に入る表現として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 限定的な意味になる イ 親しみやすさがある ウ 意味のひろがりがある エ さらに具体的になる

問五 傍線部①「それはわれわれの《文化》そのものにかかわってきます」について、次の各問いに答えなさい。

- 1 「それ」とは何を指すか、文章中の言葉を三文字で抜き出して書きなさい。
- 2 「《文化》」とあるが、「《文化》」の説明を端的に示している箇所を二三文字以内で抜き出して書きなさい。

問六 傍線部②「文化とはコード的な現象である」とあるが、「コード的な現象」の具体的な例としてふさわしくないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 葬式の時には、黒を基調とした服を着て、派手なセーターやジーンズは着ていかない。
イ ある地域では最終電車の時刻が二四時までであるが、ある地域では二二時で終わっている。
ウ ある国では邪悪なもの象徴として嫌悪される蛇が、ある国では知性の象徴として尊ばれている。
エ 小学校の運動会で、二つの団に分かれる時は、赤団と白団が一般的で、それ以外はほとんどない。

問七 傍線部③「日本の文化とはまさに日本語という言語に象徴される文化にほかならない」とあるが、「日本の文化」が「日本語」に象徴されているのはなぜか。その説明として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本語は日本人の思いを伝えるコミュニケーションの道具だから。
イ 各地域の方言より標準語の方が日本の文化を象徴しているから。
ウ 日本文化を日常的に無自覚のまま使用しているのが日本語だから。
エ 日本語は日本人が共有する習慣を最も適切に体现しているから。

問八 傍線部④「多様な意味で、言語というものは文化の中心的な因子であろう」とあるが、「言語」について説明した、次の文章の()に入る言葉を、指定された文字数で、本文中から抜き出して書きなさい。

文化そのものを象徴している代表が、言語というコードである。その規則は厳密でもないが自由気儘でもないため①(二文字)と②(三文字)という見方では中間くらいである。また、はっきりとは意識はできなくて暗黙のうちに存在するものでもあるため③(七文字)と④(七文字)という見方でも中間くらいにある。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

問題として採用した文章については、著作権者への配慮から掲載を差し控えております。

問一 波線部 a、b の文脈上の意味として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

a 虚空をさまよいはじめたまなざし

- ア 他のことが気になる目
イ 集中力が欠けた目
ウ 不安でおどおどする目
エ 相手の欠点をさぐる目

b かげんそうに

- ア 寂しそうに
イ 不思議そうに
ウ うれしそうに
エ 満足そうに

問二 (A) (B) に当てはまる言葉の組み合わせとして、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア (A) ゆっくりと B (B) どんよりと イ (A) こっそりと B (B) うっすらと
ウ (A) のんびりと B (B) もわっと エ (A) そそくさと B (B) はつきりと

問三 傍線部①「うれしくなって、寂しくなって、頬がゆるんで、うつむいてしまう」とあるが、このときの私の心情の説明として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 美しく装飾した友達の母親をうらやむ一方で、自分の母親は仕事ばかりの生活を送っており、申し訳なさを感じている。
イ 友達の家庭の温かさにつつまれうっとりする一方で、自分の母親が泊まることを認めないので、いまいましく感じている。
ウ かつては優しくかった母親を懐かしむ一方で、工事現場で働く今の母親は荒々しい雰囲気になり、もどかしく感じている。
エ 女性らしい華やかさから母親に甘えなくなる一方で、自分の母親にそのような雰囲気がないことに気づき、つらく感じている。

問四 傍線部②「わかっていたから、すねた」とあるが、このときの私の心情の説明として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 女手一つで育てているからこそ、他人に迷惑を掛けたくないという母の意地をわかっていてから、一人で留守番する寂しさがまんできずに、素直になれない気持ちになった。
イ 安易に他人の好意に甘えず、自立した大人になってほしいという母の思いをわかっていてから、自分の提案をあっさり否定する母の態度に失望し、なぜやりな気持ちになった。
ウ かたくなに他人の思いやりを拒もうとする母親の意固地をわかっていてから、せっかくの友達の誘いを断る母親に反発し、友達に申し訳なく思う気持ちになった。
エ 華やかさのある友達の母親に対して母が劣等感を感じているのをわかっていてから、意固地になって化粧をしたり装飾品をつけたりしない母親に対して、いらだつ気持ちになった。

問五 傍線部③「ごめんなさい、お母ちゃん、ごめんなさい、と心の中でわびながら、私は言った。『お母ちゃんのおにぎり、くさい』」とあるが、私はなぜ心の中でわびながら、母の作ったおにぎりを「くさい」と言ってしまったのか。その理由を説明した次の文章の()に入る言葉を、十字以内で書きなさい。

母親の愛情は理解しているが、夜中に留守番をする寂しさや友達のお母さんのような華やかさがないのは、すべて()からだと考え、おにぎりがあるはずのない土のにおいを感じてしまったから。

三 次の問いに答えなさい。

問一 次の文と同じ意味の故事成語を、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

① 小さな違いだけで、大差が無いこと。

ア 画竜点睛
イ 五十歩百歩
ウ 朝三暮四
エ 四面楚歌

② しても仕方ない苦勞のこと。

ア 温故知新
イ 推敲
ウ 漁夫の利
エ 杞憂

問二 次の文の（ ）に漢字を入れ、文脈に合うように四字熟語を完成させなさい。

① 合格を目指して一（ ）不（ ）に勉強した。

② これは前（ ）未（ ）の重大事件だ。

③ 話し合いで出された意見は（ ）差（ ）別だった。

④ （ ）信（ ）疑で話を聞く。

問三 次の傍線部を、へ くの指示にしたがって、適切な敬語に書き直しなさい。

① コーヒーを飲みますか。〈尊敬語にする〉

② ひとつ聞いてもいいですか。〈謙譲語にする〉

③ 私の考えを言います。〈謙譲語にする〉

④ しばらくお待ちしてください。〈尊敬語にする〉